

金沢市立扇台小学校

テーマ及び目的	郷土食材の生産者をゲストティーチャーとして招き、児童が作物を育てる上での苦労や工夫について学ぶことで、郷土の産物、食文化や歴史を理解し、尊重する心をもつとともに、食物を大事にし、食物の生産等に関わる人々への感謝する心をもつ。
対象及び参加人数	2年生 64名、3年生 71名、4年生 55名、5年生 76名 計 266人
実施日	2年生：平成30年11月14日（水）、3年生：平成30年6月28日（木） 4年生：平成30年6月29日（金）、5年生：平成31年2月12日（火）
実施主体	金沢市立扇台小学校
会場	金沢市立扇台小学校 マルティパーパスルーム及び各学年教室
スタッフ	生産農家（団体）、各学年担任教諭、栄養教諭
内容等	<p>【2年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さつまいも生産者による出前授業、交流給食 <p>【3年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加賀太きゅうり生産者による出前授業、交流給食 <p>【4年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金沢佃煮の生産者による出前授業、交流給食 <p>【5年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加賀れんこん生産者による出前授業、交流給食
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・生産者の苦労や工夫を映像や生の声を通して伝えて頂けることで、子ども達の心が動き、食に対する関心や感謝の気持ちに高まりが見られる。 ・生産者とともに産物が食材として調理された給食を頂くことで、子ども達はよく噛み、味わって給食を食べるようになった。 ・子どもの中には、家庭へ帰って食について家族と話すことが増えた子も多い。 ・学校からは、食育便りを保護者向けに発行し、啓発できた。
今後の課題感想等	取組はかなり進んできたが、今後教育課程への位置づけが課題である。

